

備前市 事務事業評価表

事務事業名	情報化適応人材育成事業		コード	01-01-17-06
			担当課・係	企画課 情報政策班
			担当者	草加 浩一
事業実施期間	H13～		電話	64-1812
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	情報通信		

事業について	
目的 (何のために)	効率的で有意義な情報化を推進するための人材育成。市行政の広範囲な分野で、市民の情報活用能力の向上、情報化教育の推進、行政職員の能力向上を目指す。
対象 (誰・何を対象に)	職員、地区公民館講習の受講者（市民）
内容	情報化に適応した人材育成は一朝一夕には不可能であるため、職員対象のITリーダー講習ではタイムリーなセキュリティ情報や具体的なネットワークトラブルの対処法などを中心に実施している。地区公民館での講習は地区公民館事業への協力と位置づけ、初心者向けのインターネット利用の手引き的な内容で実施している。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
ITリーダー等講習	4回	8回	
延参加者数	244人	212人	
職員1人当り参加回数	1回	1回	
地域公民館等講習	1回	1回	
延参加者数	45人	40人	
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費	0	直接事業費
	人件費	1,175	人件費
	合計	1,175	合計
必要人員	0.15人	0.15人	
結果指標	結果指標名	ITリーダー等講習	ITリーダー等講習
結果指標量	4	8	
単位	回	回	
対前年比	-	200.00%	0.00%
活動にかかるコスト	800,000円	800,000円	
単位当たりコスト	200,000円	100,000円	
結果指標	結果指標名	ITリーダー等講習延参加者数	ITリーダー等講習延参加者数
結果指標量	244	212	
単位	人	人	
対前年比	-	86.89%	0.00%
活動にかかるコスト	800,000円	800,000円	
単位当たりコスト	3,279円	3,774円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	市民の情報活用能力の向上、情報化教育の推進、行政職員の能力向上		
成果指標名	講習参加者数	式又は説明	ITリーダー等講習における参加者数
成果指標量	17年度 244	18年度 212	
対前年比	-	86.89%	0.00%
到達目標値		到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： <input type="checkbox"/>)	妥当性評価<A~E>	B
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	ITリーダー講習は職員のスキル・アップのために必要である。全体のレベルアップを図るためには、特定の職員がITリーダーになり続けるのではなく、多数の職員が経験するべきである。市民向け講習も好評であるが、民間のパソコン教室と競合しない内容に留めている。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である			
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	B
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	外部講師を招かず職員で対応しており、コスト削減している。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	受講者間のレベルに開きがあり、全員が満足する講習は難しい。開催回数の増加や市民対象の講習も増を検討するべきか。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	地方自治情報センター（LASDEC）の研修講師派遣制度（無料）を利用し、職員対象の研修を予定している。地区公民館講習も2回予定している。	
目標値	結果指標量	4	結果指標量	220
	成果指標量		成果指標量	220

総合評価	職員のスリルアップのためにも内部研修は重要。市民向けの講座を通じて、市民の情報リテラシーの向上を図っていく必要がある。	評価区分 <A~E>	C
------	---	---------------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	ITリーダーの経験者の増を図る。	H20～	全体のスキルアップが期待できる。